

Mizuho Daily Market Report

2023/10/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.96	148.71	+0.20	▲0.31
EUR	1.0571	1.0605	+0.0038	+0.0138
AUD	0.6397	0.6432	+0.0021	+0.0130
SGD	1.3666	1.3631	▲0.0022	▲0.0100
CNY	7.2953	7.2940	+0.0014	▲0.0040
MYR	4.7353	4.7280	▲0.0035	+0.0042
THB	36.90	36.74	▲0.36	▲0.29
IDR	15726	15735	+45	+155
PHP	56.88	56.87	▲0.09	+0.07
INR	83.26	83.25	▲0.02	+0.05
VND	24416	24396	+11	+3

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.653%	▲14.8 bp	▲14.3 bp
日本(10年)	0.783%	▲2.2 bp	+1.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.775%	+0.3 bp	▲19.3 bp
オーストラリア(5年)	4.041%	▲3.6 bp	▲12.6 bp
シンガポール(5年)	3.339%	▲3.0 bp	▲0.1 bp
中国(5年)	2.552%	+2.3 bp	+2.7 bp
マレーシア(5年)	3.800%	▲0.8 bp	+5.8 bp
タイ(5年)	2.919%	▲0.9 bp	+7.7 bp
インドネシア(5年)	6.755%	▲4.7 bp	+2.7 bp
フィリピン(5年)	6.261%	+1.1 bp	+7.8 bp
インド(5年)	7.390%	▲4.5 bp	+13.6 bp
ベトナム(5年)	1.950%	▲5.0 bp	+19.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,739.30	+0.4%	+2.2%
N225(日本)	31,746.53	+2.4%	+1.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,205.23	+2.3%	+2.7%
ASX(オーストラリア)	4,124.72	+1.9%	+2.0%
FTSE(シンガポール)	3,199.07	+1.0%	+0.2%
SSEC(中国)	3,075.24	▲0.7%	▲1.1%
KLSE(マレーシア)	66,079.36	+0.9%	+0.9%
SETI(タイ)	6,922.19	+0.4%	▲0.3%
JKSE(インドネシア)	1,435.17	+1.3%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,264.07	+0.2%	▲0.7%
SENSEX(インド)	1,434.45	+0.2%	▲0.9%
VNINDEX(ベトナム)	1,143.69	+0.6%	+2.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	279.87	▲0.1%	▲0.6%
金	1,860.40	▲0.1%	+2.1%
原油(WTI)	85.97	▲0.5%	▲3.7%
銅	7,945.00	▲1.2%	+0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	147.80	—	151.00
EUR/USD	1.0470	—	1.0620
AUD/USD	0.6250	—	0.6460
USD/SGD	1.3620	—	1.3770
USD/CNY	7.2850	—	7.3280
USD/INR	4.7120	—	4.7380
USD/THB	36.80	—	37.90
USD/IDR	15580	—	15970
USD/PHP	56.40	—	57.10
USD/VND	82.90	—	83.45
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

週明けアジア時間のドル円は148円台前半でオープン。前日のドル売りの流れが継続し小幅に下落するも、五・十日のドル買い需要や日経平均株価の大幅上昇にサポートされ反発。148円台後半まで上値を伸ばすも、「日銀、物価見直しを上方修正へ」との報道を受けドル円は148円台前半まで反落。引けにかけてはやや値を戻し海外時間に渡った。
アジア通貨は概ね下落。中東情勢が緊迫する中、リスク回避的な値動きとなった。インドネシアは15700台前半までドル安が進展し、連日年初来安値を更新。昨年の安値となる15700台半ばに迫る水準となった。

海外時間のドル円は欧州時間に米金利が上昇に転じたことを受け149円台前半まで上昇し米州時間入り。米州時間入り後、米金利が低下する動きが重しとなり、じり安で推移し148円台前半まで再度反落。その後は売りが一巡し、148円台後半まで買い戻されるも、その後は動意乏しい値動きが続く、同水準でクロス。

【金利】

連休明けの金利市場は大幅低下。週末に勃発した中東でのハマス軍事組織によるイスラエル攻撃で、米国債券市場にも安全資産買いの動きが見られ、長期ゾーンを中心に金利が寄り付きより低下。米州時間朝方の指標や、その後に発表となった3年債の入札結果も、市場には影響薄かった。複数のFED要人が発言し、追加利上げについては弱いトーンだったことから買われた部分もあった。

【予想】

本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。昨日の日銀が物価見直しを上昇修正するとの報道や、FED高官によるハト派的なコメントを受けドル円は上値を試しにくい環境と予想。一方で、原油価格の上昇は実需のドル買い圧力を強めると予想されドル円のサポート材料となろう。148円台半ばを中心としたレンジでの推移を予想する。

【本日の予定】

(日本) 9月 工作機械受注(確)
(日本) 国債入札(5Y)
(アジア) 8月 NZ 純移住者数
(アジア) 8月 韓国 国際収支・経常収支
(アジア) 9月 中国 海外直接投資
(アジア) 豪 9月 RBA総裁補講演
(欧州) 8月 ユーロ圏 ECB1年CPI予想
(欧州) 8月 ユーロ圏 ECB3年CPI予想
(欧州) 9月 独 CPI(確)
(欧州) 9月 独 卸売物価指数
(欧州) 伊 国債入札(12M)
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 9月 PPI
(米国) FOMC議事要旨
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) コリス・ホストン連銀総裁講演
(米国) ティラー・サンフランシスコ連銀総裁講演
(米国) ホウマンFRB理事講演
(米国) ホスティック・アトキン連銀総裁講演
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。